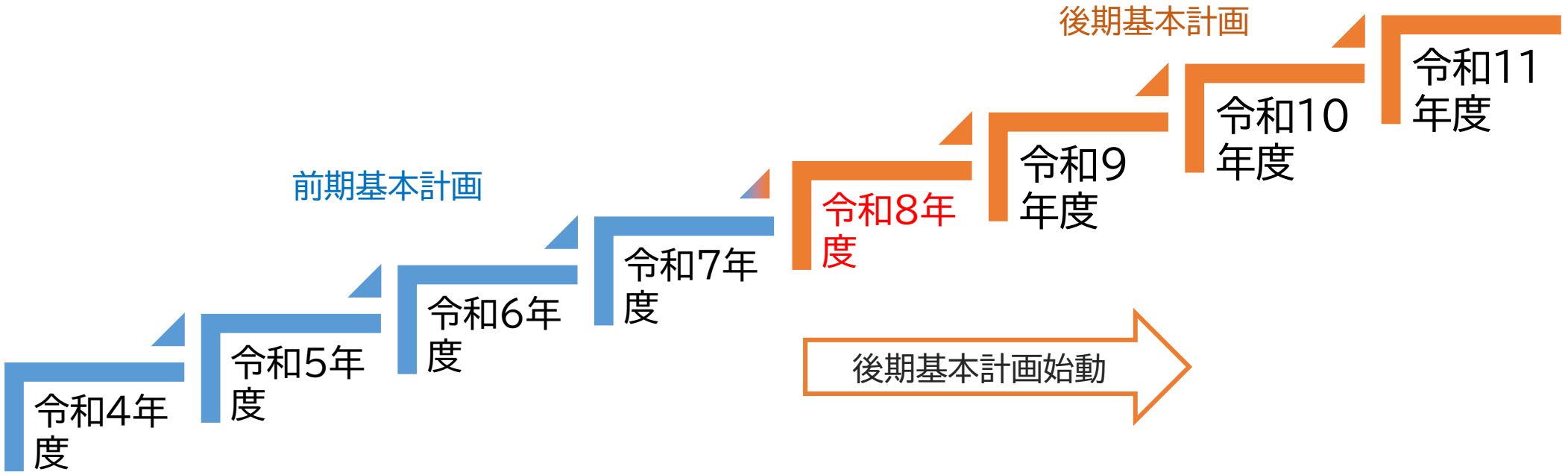
令和８年度政策立案の基本的な考え方

第7次府中市総合計画における令和8年度

都市像 「きずなを紡ぎ　未来を拓く　心ゆたかに暮らせるまち　府中」



令和8年度は、前期基本計画から後期基本計画への移行初年度であり、これまでの施策の進捗状況を的確に評価し、成果を継承しつつ、未達成の課題や新たに顕在化した課題を整理しながら、新たなスタートを着実なものにしていく必要があります。

後期基本計画の初年度となる令和8年度

令和8年度は、後期基本計画の実効性を高める**「起点」**となる重要な年度です。
初年度における取組は、計画全体の方向性や成果に大きな影響を与えることから、**重点施策を的確に把握し、着実に実行**に移すことが求められます。

後期基本計画における重点プロジェクト（令和7年8月現在案）

プロジェクト1
やさしさと安心につつまれたまちづくり

プロジェクト2
みらいを見すえたまちづくり

プロジェクト3
にぎわいと魅力あるまちづくり

新庁舎が完成する令和8年度

平成23年に府中市庁舎建設基本構想が策定されて以来、長い年月をかけて検討を重ね、工事を進めてきましたが、いよいよ新庁舎「はなれ」が竣工し、**新しい府中市役所が完成**を迎えます。
新庁舎の完成は、**府中市の新たなスタート**です。市民の皆さんとのつながりを大切にしながら、より開かれた市役所を実現させていく必要があります。

基本理念：市民に親しまれ、府中らしさを受け継ぐまちづくりの拠点となる庁舎

府中市らしい庁舎の3つの柱

・京王線府中駅とJR府中本町駅のにぎわいをつなぐ庁舎
・市民と行政との協働を支える庁舎
・歴史あるまち、魅力あるまちを発信する庁舎

市政を取り巻く状況や課題

◆少子化・高齢化への対応

⇒令和6年における国内の出生数は初めて70万人を下回り、子どもを生み育てやすい環境の充実が求められている。また、令和7年には団塊世代が75歳以上に達し、医療・福祉関連の需要は今後増大する。

◆物価高騰による影響

⇒物価高騰により市民生活及び行政運営に大きな負担が生じており、今後も経済の動向には注視していく必要がある。

◆DXの推進

⇒多様化・複雑化する地域課題や市民ニーズへの対応に加え、人口減少による労働力人口の減少を見据えた効率的な行政運営を実現するためには、DXの推進が不可欠である。

そのほか、環境問題や災害対策、多様性・共生社会の実現など、課題は多数存在するが、経営資源には限りがある。

柔軟かつ持続可能な政策を展開していく必要がある！

令和8年度政策立案に向けた視点及び留意すべき事項

【時代の変化や社会情勢に対応する視点】

◆未来を担う子どもが健やかに成長できるよう、子どもと保護者の目線に立った事業に取り組み、**子どもを生み育てやすい環境を充実**させ、少子化対策につなげていくこと。

◆特殊詐欺といった犯罪被害の防止や自然災害への対応力向上など、**誰もが安心して暮らすことができるまちづくり**を推進すること。

◆新庁舎「はなれ」の完成を契機に、中心市街地の一層の**にぎわい創出**を図ること。

◆**市の魅力や取組を効果的に市内外に発信**し、まちへの愛着を深めるとともに、地域ブランドの向上や地域経済の活性化、行政施策の理解促進につなげること。

令和8年度政策立案に向けた視点及び留意すべき事項

【持続可能な行政運営に関する視点】

◆**行政評価の結果**を踏まえつつ、優先的に解決しなければならない課題を的確に見極め、**選択と集中**により事業を効果的に進めること。

◆既存事業の見直しや廃止に加え、補助金やクラウドファンディング等の活用による**財源の確保**に努めること。

◆地域課題や市民ニーズが多様化・複雑化する中でも、**丁寧な業務遂行により質の高い行政サービスを確保**するため、既存事業の見直しや廃止、DXの推進等により業務の逼迫を防ぐこと。

◆外部委託をはじめとした民間活力の導入に当たっては、必要なコストと得られる効果を綿密に精査し、**住民の利益を最優先**に考慮した運用を行うこと。

◆市民や事業者の声を積極的に政策に反映させるなど、**協働によるまちづくり**を一層推進すること。